

「導入：実践しないと理解できない」

■この授業の目的

目的：SPSS での調査データ分析の「実践」をとにかく経験する

- ・とりあえず実践すれば、何が簡単で何が難しいのかがわかる。
 - ・結果が「読めるだけでよい」という人も、実践経験がないとむしろ遠回りになる。
 - ・本当に使うときになってから学習するのでは遅い。
 - ・「社会学」でのデータ分析を意識する（情報処理の授業ではない）。
-
- ・カバーする範囲
 - 基礎分析
 - 一変量の分析（度数分布表→基本統計量）
 - 二変量の分析（クロス表→連関係数、散布図→相関係数、グループ別の平均比較）
 - 多変量解析
 - 回帰分析は自信をもって使えるようになる
 - 他は「だいたいわかる」を目指す（主成分分析、因子分析、クラスター分析）
 - データの入力・加工
 - データ入力、リコーディング、新変数の計算、分析対象の限定
 - 計量分析のレポート作成
 - 文章の基本構成、図表作成、考察の仕方

講義予定

- 第 1 回 導入：実践しないと理解できない
- 第 2 回 基礎分析（1）
- 第 3 回 基礎分析（2）
- 第 4 回 基礎分析（3）
- 第 5 回 重回帰分析（1）
- 第 6 回 重回帰分析（2）
- 第 7 回 重回帰分析（3）
- 第 8 回 クラスター分析（1）
- 第 9 回 クラスター分析（2）
- 第 10 回 因子分析（1）
- 第 11 回 因子分析（2）
- 第 12 回 その他の分析技法
- 第 13 回 計量分析でレポートを書く・読む（1）
- 第 14 回 計量分析でレポートを書く・読む（2）
- 第 15 回 計量分析でレポートを書く・読む（3）

- ・具体的にできるようになってほしいこと
 - 1) 社会学の視点から、それぞれの分析手法のねらいを理解する。
 - 2) SPSS を操作して分析結果の出力と読み取りができる。
 - 3) 目的に見合った分析プランを立案できる。

■ SPSS

- ・ SPSS (Statistical Package for Social Sciences) という統計分析ソフトを使う。
- ・他にもいろいろな統計分析ソフトがある (R、Stata、SAS など)。
- ・統計分析ソフトは表計算ソフト (Excel など) と似て見えるが、役割は大きく異なる。

| | Excel | SPSS (IBM SPSS) |
|----|---|---|
| 目的 | 表計算 | 統計分析 |
| 利点 | <ul style="list-style-type: none">・ 一般的でつぶしが利く・ 比較的安い・ 動作が安定 | <ul style="list-style-type: none">・ 統計分析に特化すれば操作が簡単・ データのサブ情報 (欠損値等) を整理できる・ 分析の過程や結果がたどりやすい・ 統計分析ソフトの中では一般的 |
| 欠点 | <ul style="list-style-type: none">・ 特殊な機能を駆使しなければ、普通の分析もできない・ 分析の過程や結果を残すには、自分で工夫が必要・ うっかりミスをしやすい | <ul style="list-style-type: none">・ 普通の会社ではお目にかからない・ 値段が高い・ いまいちフレンドリーでない・ 出力の再利用がしにくい |

※関大の学生は SPSS を個人パソコンにインストールできます。

関西大学 IT センター→サービス→ダウンロードステーション を参照。

■ 具体的な授業内容

- ・ 「①操作説明→②とりあえずやる→③意味の説明→④作業課題」を繰り返す。
- ・ 毎回、ミニツツペーパーを提出

- ・ 成績 = 授業中の課題 50%
+ 学期末のレポート 50% 純粋な出席点は無し

- ・ 基本的な統計学の知識 (平均、分散、相関係数、検定など) がある方がよい
(知識が足りないと思う場合、計量社会学 I, II の過年度資料等を参照)
- ・ 統計ソフト (SPSS) に関する知識はゼロであることを前提とする

テキスト

小田利勝 2007 『ウルトラ・ビギナーのための SPSS による統計解析入門』 プレアデス出版.

参考文献

秋川卓也 2006 『文系のための SPSS 超入門 新装版』 プレアデス出版.

岩井紀子・保田時男 2007 『調査データ分析の基礎』 有斐閣.

与謝野有紀ほか編 2006 『社会の見方、測り方：計量社会学への招待』 勁草書房.

筒井淳也ほか編 2015 『計量社会学入門：社会をデータでよむ』 世界思想社.

練習用質問紙

(※望ましいワーディングではありません)

Q1 性別

- 1 男 2 女

Q2 学年

- 1 一年生 (いないはず) 2 二年生 3 三年生 4 四年生 5 その他

Q3 1週間の授業数(予定で)

_____コマ

Q4 片道の通学時間

_____分

Q5 親と一緒に暮らしているか

- 1 暮らしている 2 暮らしていない

Q6 【親と暮らしていない人だけ回答】帰省するためにかかる片道の時間

_____分

Q7 持っているもの【複数回答】(誰の許可もなく使えるものに限る)

- 1 ノートPC 2 プリンター 3 カメラ 4 パスポート 5 どれも無い

Q8 大学生活で最も大切にしていることをあえて1つ選ぶと……

- 1 学業 2 人間関係 3 趣味(部活等を含む) 4 その他

Q9 大学生生活の満足度(それぞれ0~10点で評価)

- a 全般…………… _____点
b 学業…………… _____点
c 人間関係…………… _____点
d 趣味(部活等を含む) …… _____点

Q10 _____

今日の課題

作業課題① 4~5人のグループで練習用質問紙のデータをSPSSに入力しなさい。

作業課題② 「変数ビュー」で「ラベル」「値」「欠損値」を完成させなさい。

作業課題③ Q5、Q6の度数分布表を作成しなさい。

作業課題④ Q9a~dについて、平均値・標準偏差を比較し、分布の違いを読み取りなさい。

文章課題 練習用データをいじって度数分布表や基本統計量をいくつか出力し、結果が自分の予想と異なった質問項目を1つとりあげなさい。その結果について、次の2点をしっかり区別した文章を示しなさい(箇条書きではなく、区別がわかる文章で書く)。

1) その項目の回答はどんな分布だったのか、客観的な調査結果

2) 自分の予想とどのように異なり、なぜ予想と違う結果が出たと思うか主観的な解釈
